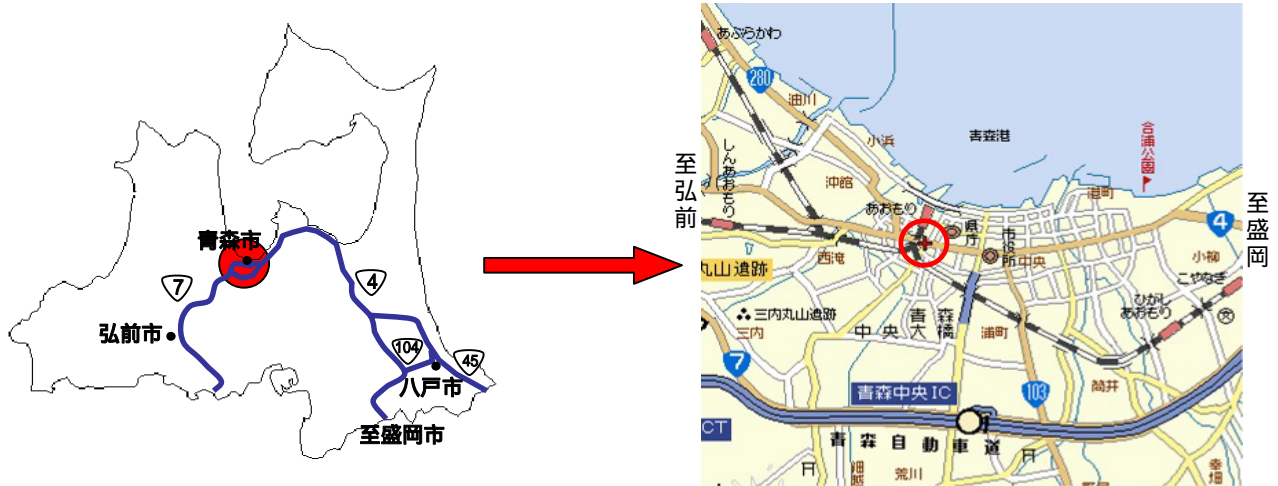


1. 目的・必要性

一般国道7号青森市古川交差点における交通事故対策は、直進車両の追突事故や歩行者関連の事故が発生しているため、事故の削減を目的とした事業です。

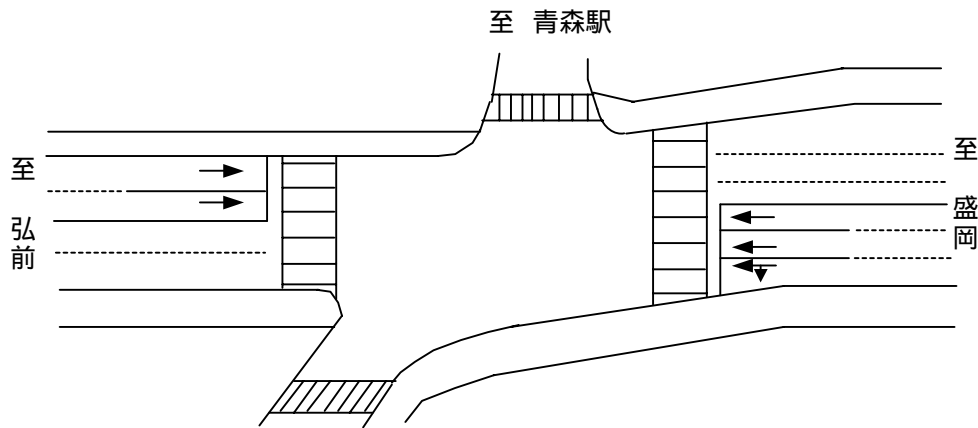
2. 地図

位置図

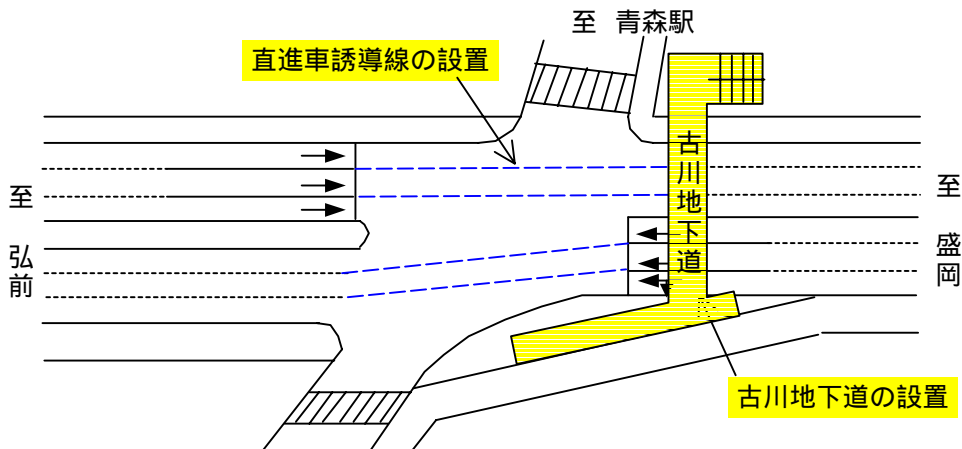


対策実施図

(対策前)



(対策後)



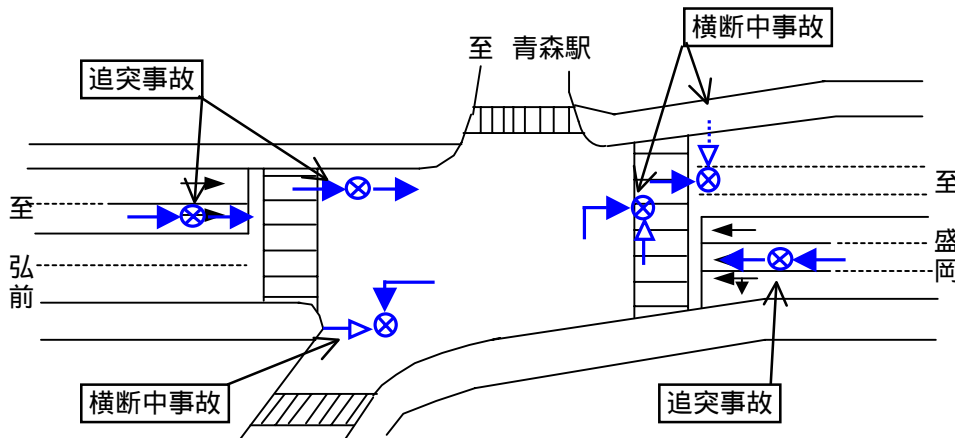
3. 事業概要

事業名	事業区分	事業主体	箇所名	完成	全体事業費
一般国道7号	一般国道	東北地方整備局 青森河川国道事務所	青森市古川	平成8年度	530百万円

事業前

当該交差点では、交差道路が鋭角で食い違っているため、交差点が大きく、直進車の進路が不明瞭であることから後続車両が追突したり、歩行者事故が発生していました。平成2年から平成7年までの総事故件数は、66件でした。

事故発生状況図(平成5年)



交通事故件数

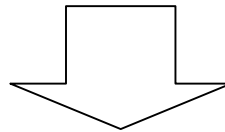
11.0件/年(H2~H7)

人対車両事故件数

1.8件/年(H2~H7)

追突事故件数

3.0件/年(H2~H7)



古川交差点を整備することによって

事業後



交通事故件数

8.0件/年(H9~H13)

人対車両事故件数

0.2件/年(H8~H13)

追突事故件数

1.6件/年(H9~H13)

古川地下道の設置及び直進車誘導線を設置することにより、安全な歩行空間の確保及び進路の明確化、交差点のコンパクト化により事故の対策を図っています。全体発生件数は11.0件/年から8.0件に減少し、特に人対車両事故が1.8件/年から0.2件/年に減少しました。また、追突事故も3.0件/年から1.6件/年に減少しました。